



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.127

a taste of YassisY

田中 康夫



たなかやすお ●'56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。[公式ブログ]http://www.nippon-dream.com/

地籍は品川区なのに名称は目黒駅。港区の品川駅と並んで“入れ籠”構造が話題となる目黒駅周辺を訪れる度に僕は、スイスのバーゼルを思い出します。

宝飾と時計の見本市バーゼルワールドで一般には知られるライン川沿いのバーゼルは、奥深さ“入れ籠”的街です。製薬会社ノーヴァルテイスが前身のチバガイギー一代から本社を構える右岸は産業地域。国際決済銀行IBISの本部が位置する左岸は金融地域。

高血圧治療薬の臨床研究不正事

件で近時、醜聞となつた前者の多国籍企業は嘗て葉害スモンに代表される負の歴史も有します。

第一次世界大戦敗戦国ドイツに対する賠償金支払い督促機関として設立された後者は現在G20諸国を中心とする中央銀行・金融監督当局で構成されるバーゼル委員会の事務局を務めます。貸し渋り

・貸し剥がしに伴う日本の景気低迷を結果として齎したBIS規制

リード・バイエラー。

役員室に飾る印象派の作品を泡沫経済期に高額で購入した日本企業の多くはバブル崩壊後、已む無く廉価で売却に至ります。“入れ籠”的如く納入も引取も一手に引き受けたバイエラー夫妻は財団を設立。それらを展示すべくバーゼル郊外にレンジ・ピアノ設計の美術館を20世紀末に開館しました。

東急目黒線と東京メトロ南北線、

目黒駅周辺の“入れ籠”構造に奥深きバーゼルの街を想う

今週の逸品



焼鳥弁当 2200円

経営学でも入れ籠構造なる熟句で用いられる入れ籠は、マトリョーシカ人形の手品、或いはスイスの精神医学者ヘルマン・ロルシャッハが考案のロールシャッハ・テスト、更にはアラン・ムーアが「ウォッティメン」「Vフォーヴェンデック」で描く人間や物事の表裏性とも似通った心智。東都に点在の焼鳥屋の中でも群を抜いた評価を幾つかの指南書が与える鳥しきの客筋も正しく入れ籠で、その光景観察も来訪時の一興。

[鳥しき] 東京都品川区上大崎2-14-12 ☎03-3440-7656
営業時間 18:00~23:00 (月曜・祝日 禁煙)

illustration by Hajime Anzai

都営地下鉄三田線が相互直通運転を実施し、白金高輪駅を含む南北線・三田線共用区間は東京メトロが、接続地点の目黒駅は東急が管轄する構図も、フランス・ドイツと国境を接するバーゼル空港の“入れ籠”を想起させます。

現在はユーロ空港・バーゼル・ミュールーズ・フライブルグ空港とも呼ばれるバーゼル・ミュールーズ空港は仮領内に存在。回廊状に金網で覆われた専用道路でスイス側から到着すると、車寄せも含めて建物は中央で両国に分断されているのです。

出発時はスイス、フランス別々に搭乗手続と出国審査を受けた後に公用の手荷物検査場を通過。到着時は最初に回転台で荷物を受け取った後に入国審査・税関検査を別々に受けます。それぞれの到着ロビーに設置のレンタカー・オフィスの料金も、Eリ非加盟のイスラエル・フランスで異なります。

バーゼルにはスイス最古の動物園と植物園が存在し、後背地の高台には邸宅が建ち並びます。これも又、庭園美術館や自然教育園、花房山の閑静な住宅地が連なる目黒駅周辺との近似性でしょう。

近時、好事家の間で誠実だと耳目を集める「鳥しき」は、目黒駅前口ターミナルの一本裏手の路地で営まれる焼鳥屋。お土産の焼鳥弁当を事前予約するのも一興です。